



いいで町

158号

# 議会だより



秋の収穫が楽しみだネ

## 6月議会(第5回定例会)

千葉県南房総市立千倉小学校との  
交歓会で振まうもち米づくり。  
(第一小学校)

一般質問(3人) .....	P 4~6
臨時会 .....	P 7
各常任委員会 .....	P 8~9
全議員研修・編集後記 .....	P 12

# 貸工場建設に5億7千万円

(山形大学蓄電デバイス開発研究センター)

## 6月定例会概要

平成27年6月定例会を、去る6月1日から5日までの5日間にわたり開催しました。一般質問3人、一般会計と各特別会計補正予算5件、人事案件1件、請願2件、第三セクター及び土地開発公社の決算状況報告6件、その他5件を審査しました。請願2件は継続審査とし、ほかはいずれも原案どおり可決しました。



センター完成予想図

## 各会計補正予算

(単位：万円)

会計別		補正前の額	補正額	計	備考
一般会計		715,500	10,790	726,290	人件費の精査
特別会計	国民健康保険 事業勘定	91,479	△ 65	91,414	
	介護保険	111,082	136	111,218	
	農業集落排水事業	56,139	△ 294	55,845	
	添川財産区	277	32	309	
水道事業会計（営業費用）		1,796	279	2,075	



# 起業支援施設整備事業

## 工事請負契約

◆平成27年度飯豊町起  
業支援施設整備事業  
第2期工事

### 契約金額

5億7240万円

### 契約の相手方

樋口建設(株)

代表取締役

樋口 哲也

旧和光電気山形工場  
跡地に新築するもの  
で、山形大学に蓄電デ  
バイス開発研究センタ  
ーとして貸付けるもの  
です。

## 財産の取得

### ◆ロータリ除雪車

2.2m級(株)日本除雪機

製作所HTR306型

### 取得金額

3127万円

### 契約の相手方

(株)KCMJ南陽営業所

所長 遠藤 和男

## 人事

◆固定資産評価審査委  
員の選任に同意

氏名 宇津木達男

住所 飯豊町大字萩生

任期 27年6月1日～

30年5月31日

氏名 梅津 忠一

住所 飯豊町大字添川

任期 27年6月15日～

30年6月14日

◆人権擁護委員の候補  
者の推薦

氏名 井上 慶次

住所 飯豊町大字椿

任期 27年10月1日～

30年9月30日

## 請願

◆「平和安全法制」法  
案の廃案を求める意  
見書提出についての  
請願

◆年金積立金の安全か  
つ確実な運用に関す  
る請願について

審査の結果 2請願と  
も調査研究が必要なた  
め、継続審査としまし  
た。

尚、8月5日で議員  
が任期満了となること  
から、再審査が不能と  
なり、審議未了で廃案  
となる見込みです。

## 補正の主なもの



スキー場リフト修理  
486万円



スポーツセンター照明修繕  
740万円



眺山草地造成事業  
9570万円

一般質問

# 地域を支える産業に活力を



鈴木敏夫議員

- 地方創生の計画は
- 活性化と人口増加対策は
- 産業の市場拡大に向けた支援体制は
- 高齢者の福祉と生きがい対策は

質問 地方創生に向けた計画は。

年内に地方版総合戦略を策定

町長 市町村においても、「地方版総合戦略」及び「地方人口ビジョン」の策定が努力義務とされました。

職員で構成する「地方創生特命委員会」を設置します。さらに、

「町振興審議会」と意見交換を進めるほか、

首都大学東京の山下准教授より助言を受けながら12月までに策定します。

「地方創生特区」が創設されていますが、現時点では、申請する予定はありません。

質問 町の活性化と人口増加策は。

観光資源の有効な活用で

町長 観光資源が多くあり、誘客を促進し、既存の施設を活かしながら交流人口の増加に結びつけていきます。

また、人口減少が続いており、魅力ある町づくり、ゆとりのある子育て支援を展開していきます。

質問 産業の市場拡大に向けた支援体制は。

高円寺純情商店街との連携で

町長 高円寺純情商店街で、町民が直接消費者の声を聴くことによる消費動向の把握、また、移住相談、飯豊の食材を使った食品、商品の販売促進による相乗効果のある運営で、



みんなの笑顔にほっとするなあ!

特産品の販売等が可能な環境整備を行っていきます。

質問 高齢者の福祉と生きがい対策は。

安心して生き生きと暮らせる社会の実現で

町長 一人ひとりが、自らの健康づくりに積

極的に取り組み、健康寿命を延ばす努力を重ねることが、何よりも必要なことと、とらえています。

## 一般質問

# 買い物支援策は



菅野富士雄 議員

○誰でも安心して生活できる地域福祉を

質問 町内の中心部にさえ、コンビニしかないのでは。商店が近くになく、買い物ができない高齢者や、交通弱者が多い。

商店の再生を含めた対策はあるか。

ほほえみカー利用券で支援

町長 ここ10年程で町内購買力が30%から15%にまで落ち込みました。原因には交通手

段の問題もあり、町では商工会に交付している商店経営事業補助金の中の「ほほえみカー利用券発行事業」で支援をしています。

この事業は、加盟店において、買い物や飲食等で往復利用する方に限り、帰りは無料となるもので、26年度は623回の利用です。

地域での商店開設については、樅地区の地域づくり推進事業のなかで、加工品等の研究

開発も含め、イベント的に臨時商店を実施するとの報告があります。

質問 高齢者福祉の観点から、事業者が行う声かけや見守りのこのころくばりに、町では移動販売車の増車などを考えるべきではないか。

買い物や移動などの支援に新たな仕組みづくりを

町長 移動販売は、計画中を含め5店あります。販売先が分散し、1件あたりの購買金額が少ない等、販売者の増加は見込めない状況です。

21年度に開催した安心生活創造事業の買い物支援検討会議を再開し、商店との連携を強化、保冷車の更新補助等の検討をします。



地域の移動スーパーマーケット

今後は、介護保険制度の改正により、住民・NPO・ボランティア等、多様なサービスが総合事業に位置づけられました。29年4月からこの事業開始に向けて、地域支えあいの体制づくりや、環境整備が急務となり、買い物・移動支援などの生活要求に対し、新たな仕組みを検討します。



一般質問

# 公民館を活性化し地域力向上



後藤 恵一郎 議員

質問 今年度で指定管理が最終年度だが今後の運営方法は。

十分な検討が必要

質問 町長は「地区公民館の機能と役割を再検討し、地域課題を主体的かつ自発的に解決していくため、地域活動拠点とし、新しい形の地区公民館の創造を図っていきます。」と述べられているが、その内容は。

業を計画し、特色ある活動を行っています。また、地区別計画の推進のために、地域づくり推進事業補助金を創設し、それぞれ賑わいづくりの財源として活用いただいています。地域に根ざし、人々が集う公民館で、生涯学習とまちづくりが一体となれば地域づくりの拠点になると考えています。

また、地区別計画の推進のために、地域づくり推進事業補助金を創設し、それぞれ賑わいづくりの財源として活用いただいています。地域に根ざし、人々が集う公民館で、生涯学習とまちづくりが一体となれば地域づくりの拠点になると考えています。

また、災害時の避難所にもなっており、今後は地域課題に対する情報提供とともに、課題解決に向けた取り組みなど、「地域コミュニケーション化」が求められていると認識しています。

また、災害時の避難所にもなっており、今後は地域課題に対する情報提供とともに、課題解決に向けた取り組みなど、「地域コミュニケーション化」が求められていると認識しています。

また、災害時の避難所にもなっており、今後は地域課題に対する情報提供とともに、課題解決に向けた取り組みなど、「地域コミュニケーション化」が求められていると認識しています。

10月をめどに

方向性を出したい

町長 現在、町内5カ所の地区公民館は社会教育法第20条に基づき設置しています。

各公民館運営委員会において地区の実情や地域資源を活かした事業を計画し、特色ある活動を行っています。また、地区別計画の推進のために、地域づくり推進事業補助金を創設し、それぞれ賑わいづくりの財源として活用いただいています。地域に根ざし、人々が集う公民館で、生涯学習とまちづくりが一体となれば地域づくりの拠点になると考えています。

各公民館運営委員会において地区の実情や地域資源を活かした事業を計画し、特色ある活動を行っています。また、地区別計画の推進のために、地域づくり推進事業補助金を創設し、それぞれ賑わいづくりの財源として活用いただいています。地域に根ざし、人々が集う公民館で、生涯学習とまちづくりが一体となれば地域づくりの拠点になると考えています。



地域住民で地区別計画の検討を

十分な検討が必要と考えています。

町長 地域づくり活動と社会教育活動を融合して地域活動拠点とするには、設置主体や運営主体、予算、条例改正等多くの課題があることを認識しています。これらの課題を解決し、地域活性化の拠点づくりに取り組んでいきます。

質問 公民館からコミュニケーションセンターへの移行は様々な課題があるのでは。

町長 地域づくり活動と社会教育活動を融合して地域活動拠点とするには、設置主体や運営主体、予算、条例改正等多くの課題があることを認識しています。これらの課題を解決し、地域活性化の拠点づくりに取り組んでいきます。

制度上の課題解決に取り組む

町長 地域づくり活動と社会教育活動を融合して地域活動拠点とするには、設置主体や運営主体、予算、条例改正等多くの課題があることを認識しています。これらの課題を解決し、地域活性化の拠点づくりに取り組んでいきます。

# 介護保険料の一部軽減

## 第4回臨時会

5月1日、第4回臨時会を開催し、専決処分  
の承認2件、条例の一部改正など5件、同意1  
件を審査し、いずれも全員賛成で原案のとおり  
可決しました。

### 専決処分

●平成26年度一般会計  
補正予算

歳入歳出それぞれ  
808万円を減額し、  
73億7003万円と定  
めました。  
歳入の主な内容は、  
特別交付税や地方債の  
追加、基金繰入金を減  
額するほか、各種譲与  
税、交付金の確定に伴  
う整理で、歳出は公債  
費817万円の減額。  
他に地方債の変更8件  
です。

●町税条例等の一部改正

地方税法の改正に伴  
い、賦課期日が4月1  
日である軽自動車税に  
ついて、二輪の軽自動  
車及び小型特殊自動車  
の税率改正の施行日  
が、1年延長されたこ  
とにより改正するもの  
です。  
2件とも、議会を開  
催するいとまがないた  
め、専決処分したもの  
です。

## 条例の一部改正

●町税条例等

個人番号及び法人番  
号等の整備が主なもの  
です。

●国民健康保険税条例

課税限度額の改正及  
び減額基準などが改正  
の主なものです。

●介護保険条例

低所得者の第1号保  
険料軽減強化に関する  
改正で、第1段階に軽  
減措置を講ずるもの  
です。

●一般職の職員の給与

に関する条例

●公益法人等への職員の  
派遣等に関する条例

「日本で最も美しい  
村連合」に職員を派遣  
することに伴い、改正  
するものです。  
地域手当及び単身赴  
任手当を追加するため  
に改正するものです。



たのしいひととき、



# 工事現場も教材に

## 総務文教常任委員会

### 各課からの報告

### 質問と答弁

#### 総務企画課

◆平成27年度職員採用試験の1次試験を7月26日に実施します。  
2次試験は8月下旬実施の予定です。

◆第一小学校改築工事の進捗状況は、杭打ち工事が85%となっています。  
生徒も授業の一環として、杭打ち作業を見学しました。

問 転入者があったこととは大変喜ばしい。冬期間の通学に不安はないか。

答 冬期間の雪崩や悪路など心配ですが、冬を迎える前に、通学路の実態を調査し、情報収集、緊急時など事前協議して対策を考えます。

問 第一小改築工事は厳しい工程と思われるが、雑な仕事にならないよう十分気をつけてほしい。

答 建築関係、下請けも決まりました。天気にも恵まれ、順調に進んでいます。十分気をつけて管理していきま

問 地方創生特命委員会の構成と、進み具合はどうか。

答 職員で構成する地方創生特命委員会（16名）を立ち上げ、初会議を開催しました。

問 消防分署の建設場所を早急に決定し、公表すべきではないか。

答 早急に決定して公表します。

#### 教育文化課

◆東京都町田市から小屋地区に一家5人が転入し、六年生1人、三年生2人が手ノ子小学校に通学しています。

◆住民税務課  
税の収納状況は、5月28日の時点で国保税87%、後期高齢者医療保険98・5%、その他の町税は94・7%です。



第一小学校杭打ち工事

問 中学校の太陽光発電システムが西側に二段のパネルとなっているが、なぜ東側に一段としないのか。

答 設計は専門的な知識のある人に依頼しています。間もなく引き渡しを受けますので、後日詳しく説明します。



改築が急がれる消防分署



# 高円寺チャレンジショップ 飯豊産品の販売拡大に

# “期待”

## 産業厚生常任委員会

### 各課からの報告

#### 農林振興課

◆米の生産調整について、町目標面積799ha、転作率は40・4%で達成見込みです。

◆林道飯豊檜枝岐線の災害状況は、トンネル手前1km幅40mにわたリコンクリートの井形ブロックが崩れており、6月いっぱいには通行不能の状態です。

#### 商工観光課

◆高円寺チャレンジショップについて、6月1日より「株セイワコミュニケーションショップ」と契約し店舗運営します。

◆リチウムイオン電池開発研修会(山大)を、6月23日「あくす」で開催します。

#### 地域整備課

◆5月末工事発注率は、建設室5933万円、上下水道室1814万円で3・3%です。

#### 健康福祉課

◆特定健診の自己負担を今年度から無料にした結果、781人の申し込みがありました。

◆戦没者追悼式を7月24日「あくす」を会場に実施します。

#### 介護老人保健施設・ 国保診療所

◆内視鏡更新は、「経鼻挿入型」の予定です。

### 質問と答弁

問 リチウムイオン電池関係で「産・学・官・金」の「産」の部分はまだ聞いていない。もう少し情報公開すべきでは。

答 山形大学から企業名を公表できないと言われているが、共同研究室に入る企業は決まっているそうです。研究費は確保済みと推測しています。

企業と大学で秘密裡に行っているが、公表の要望を山大に伝えていきます。

問 Cランクが1000万円以上の工事をすると、安全管理など問題があると思う。基準を決め発注すべきでは。

答 安全管理については、施工計画書が出てきた段階で厳しく指導しています。今年度は業者に集まってもらい更に徹底します。

発注については、今後指名選定委員会で検討します。

問 ゆり園の事故で、労働基準監督署への対応

答 町からは家賃等を支出し、家賃以外は商工会と連携して、経費節減に努めます。

答 役員には周知しました。今後、十分に留意していきます。

問 高円寺チャレンジショップへの商工会連合会補助金と、当初予算の整合性は。

答 役員がすべきでは。



本格的にチャレンジ

# 土地開発公社 第三セクター 平成26年度 決算報告

平成26年度土地開発公社及び第三セクター5社の決算が今定例会に報告されました。土地開発公社では、「中ノ目南住宅団地」のうち残り西側分譲地3区画と公社所有の分譲契約を行い、すべて完売しました。また、第3セクター（町が50%以上出資する会社）においては、飯豊めざみの里(株)（物産館）を除き各会社とも単年度赤字決算となりました。町からの支援を受けての業績ですので、今後はさらなる努力を期待します。



## 飯豊町土地開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
完成土地等売却収入	14,926
完成土地等売却原価	15,154
開発中土地売却収益	0
販売費及び一般管理費	299
事業外収益	37
事業外費用	241
当期利益	△731

## 有限会社どんでん平ゆり園 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
売上高	40,444
売上原価	13,753
販売費及び一般管理費	29,828
営業外収益	502
特別損失	335
当期利益	△3,155



6月13日から開園



### (有)エ ル ベ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	40,359
売 上 原 価	13,381
販売費及び一般管理費	28,716
営 業 外 収 益	140
営 業 外 費 用	110
特 別 利 益	0
特 別 損 失	3
当 期 利 益	△1,783

### (株)緑のふるさと公社 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	135,327
売 上 原 価	38,725
販売費及び一般管理費	104,968
営 業 外 収 益	1,357
営 業 外 費 用	1,263
特 別 利 益	0
特 別 損 失	0
当 期 利 益	△8,458



### (株)飯豊町産業開発公社 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	230,936
売 上 原 価	74,863
販売費及び一般管理費	163,258
営 業 外 収 益	3,404
営 業 外 費 用	284
特 別 利 益	0
特 別 損 失	5
当 期 利 益	△4,259

### 飯豊めざみの里(株) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	620,355
売 上 原 価	374,646
販売費及び一般管理費	241,652
営 業 外 収 益	4,191
営 業 外 費 用	1,197
特 別 利 益	499
特 別 損 失	106
当 期 利 益	3,041

## 全議員研修

# 建物修理も三セクで

5月12～14日までの3日間、議員8人で青森・岩手両県の第三セクター管理運営について、視察研修を行いました。

### 酒造りの技と心 南部杜氏発祥の地

岩手県花巻市の「酒匠館」は、岩手県で一番早く設置された道の駅でした。

歴史ある南部杜氏の里で、今も全国各地に酒造りに出かけているとのことで、その土地の酒樽が展示されています。

「酒匠館」の周辺には、図書館や交番、各



道の駅「酒匠館」

種運動施設と銀行などがあり、ほとんどの用が足されますが、道の駅総合案内所を浮浪者が宿代わりに使用したり、旅行者のゴミ放棄等、治安とマナーの悪さが気になりました。

建物は充実されていますが、十分に機能が発揮されず、本町の道の駅の方が、管理運営面では優っていると感じてきました。

### 地場産品を優遇し 売り上げ向上に貢献

りんご生産地の中で、全国一の生産量をほこる青森市浪岡の道の駅「なみおか」を視察しました。

青森市の指定管理を受け、業務を運営している第三セクターの(株)アップルヒルは、平成8年の会社設立以来、黒字経営を維持しているとのことでした。年間売上高は、毎年6億円台で推移してお



道の駅「なみおか」

り、建物の維持修繕費は会社が支出しているとのことでした。

本町の道の駅とほぼ同じ売上高であるのに、市に少しでも還元されていることは、うらやましい限りでした。

また、テナント料も10%ですが、地元産は8%と低率に設定されていて、地元生産者の育成を考慮していました。

本町における第三セクター運営の再検討を強く感じてきました。

### 編集後記

春からの天候はゆりの開花促進に貢献。残された任期もわずか。

この4年間、皆様のご理解のもと、一層開かれた議会になりました。

新委員のもと、更に読みやすい広報になることを期待します。

(菅野 記)

### 発行責任者

議長 中村 仁一

### 委員長

長沼 安義

### 副委員長

菅野富士雄

### 委員

長沼 桂子  
山口 文隆  
松山 清一